2026 年 11 月 9 日
旭川市立緑が丘小学校

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

4月に第 6 学年児童を対象に実施いたしました「令和 8 年度 全国学力・学習状況調査」につきまして、文部科学省、北海道教育委員会、及び旭川市教育委員会より結果が公表されました。本校におきましても調査結果の検証を行い、お子様方の学習や生活習慣の傾向、今後の取組についてまとめましたので御報告いたします。

1　本校児童の伸びている点・強み

＜基礎的な学力と表現力＞

国語・算数ともに全体的な正答率は全国平均を上回りました。特に算数において、理由や根拠を文章や式を用いて順序立てて説明する記述問題は、全国平均を大きく上回りました。

＜タブレットの積極的な活用＞

授業での日常的な端末利用率は全国平均を大きく上回って定着しており、必要な情報を集めたり、自分の考えをプレゼンテーションにまとめたり、動画や音声などの情報を読み解く学習に親しんでいます。

＜思いやりのある関係とあきらめない姿勢＞

友達関係を大切にする意識が高く、算数の少し難しい問題に対しても、あきらめずにじっくり考えようとする割合が全国平均を上回りました。

2　今後さらに伸ばしていきたい点・課題

＜読書習慣と文章の組み立て＞

普段の読書時間が少ない児童の割合が全国平均と比較してやや高く、国語において「文章から必要な情報を抜き出して整理し、自分の考えを構成して書く」表現に課題が見られます。

＜複数の情報の整理と振り返り＞

算数における表や図からの情報の読み取りにおいて全国平均を下回る傾向が見られるほか、自分の学び方を客観的に振り返り、次の学びに生かす意識を高めていく必要があります。

＜自分の力に対する実感・自信＞

算数などでしっかりとした思考力や表現力が身に付いている一方で、「算数が得意だ」と感じている割合が全国平均を下回っており、実力に対して自信（自己効力感）を持ちにくい傾向が見られます。

3　今後の取組

＜ICT と思考ツールのさらなる活用＞

タブレットや思考ツール（考えを整理する図など）を活用し、文章の構成やデータの整理をより分かりやすく学べるよう工夫します。

＜伝わりやすく書くこと＞

「根拠＋自分の考え」など、意見を伝える文の組み立て（構想）や、書いた文を見直す（推敲する）学習を授業や家庭学習で取り組んでいきます。

＜互いの考えを認め合う対話と自信の醸成＞

問題解決のプロセスを友達同士で伝え合い、認め合う学習を通して、自分の学びへの自信につなげます。

＜読書環境の充実と家庭との連携＞

各教室の学級文庫の利用促進に加え、持ち帰り端末を活用した電子図書も推奨し、学校と御家庭が連携してお子様が本に親しめる環境づくりに取り組みます。

今後も本調査結果を基に、御家庭や地域の皆様と連携しながら、お子様一人ひとりの豊かな学びと確かな成長に向けた指導の充実に努めてまいります。引き続き、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

＜こちらの資料も御覧ください＞

【旭川市教育委員会】令和8年度 全国学力・学習状況調査 「調査結果報告・指導の改善策」

https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/218/251/257/d056900.html